

第 10 回(令和 6 年度)

苗場山麓ジオパークガイド認定検定問題

解答と解説

番号	解 説	解答例
1	雑魚川沿いには、鳥甲火山の活動で噴出した溶岩や火砕岩（角礫や火山弾・火山灰・軽石等を含んだ堆積物）が多く分布しています。写真は、火砕岩が一部溶結した露頭です。	A
2	雑魚川の上流にある滝で「おおぜん」と呼ばれています。高さ約20m、結東層の堅い変質した安山岩の凝灰角礫岩が作る滝です。奥志賀林道沿いの切明から約6 kmのところに位置します。雑魚川沿いに残る原生林の中の林道から滝に下りる道があります。	B
3	山伏山は、信濃川左岸に位置する、標高903mの釣鐘状の山です。この山はかつて現在より大きな山であり、固い山の心棒とも言える火道の部分が残っています。この山体を構成する安山岩は、魚沼層群に貫入したもので明瞭な柱状節理が形成しています。また、山体主軸に直交する横位に並ぶ板状節理を見ることができます。	C
4	苗場山麓には、中生代や古生代の地層は地表付近では見つかりません。中条川の崩壊と地すべりは、A～Cの原因があったためです。弘化4（1847）年の善光寺地震の際にも中条川上流で大崩壊と地すべりが発生しています。	D
5	昭和20年は、新潟県内でも稀に見る豪雪でした。最高積雪の記録は、正確に覚えましょう。標柱が約2度東に傾いています。これは、12年前の長野県北部地震の際に傾きました。震災遺構としてそのまま保存しています。	A
6	鳥甲山の第二期の火山活動で噴き出した軽石を主体とした噴出物が中津川の東、上野原付近に大量に流れ、その重みと圧力で軽石がつぶれてレンズ形に変化した溶結凝灰岩になりました。	B
7	毎年の降雪が雪解けの時期に急崖をすべり落ちます。そのため、急斜面に筋状の溝ができています。筋状地形（アバランチシュート）ともいいます。地形的に特色のあるところです。	C
8	中期中新世中期から後期に湖であった所に堆積したと推定される、凝灰岩の地層です。中津川上流の和山付近、特に中津川左岸に大露頭があり、対岸からみることができます。和山から小赤沢にかけての中津川沿いに分布し、層厚は100m以上あります。	D
9	主に苗場山（鳥甲火山を含む?）をつくる溶岩や火山砕屑岩などが崩壊し堆積した地層でできており、降雨等を多く含んだ結果、何かのきっかけで崩壊したと考えられます。	A
10	切明は、文政11(1828)年に鈴木牧之が訪れた時は、「湯本」と呼ばれる温泉地でした。弘化4(1847)年の善光寺地震の際に土砂崩れで湖底に沈みました。翌年、佐久間象山が工事を指揮し、天然ダムを切り開いたことから「切明」と呼ばれるようになりました。	B
11	江戸時代、千曲川において物流に船を使いたいという要請から、浅瀬で地質的にも難所の小滝付近に運河をつくることになりました。川原には障害になる巨大な礫が多くあり、その岩を砕こうとしたときの楔の跡が残っています。	C
12	約40万年前からの火山灰を挟む露頭です。この火山灰層の中には、妙高から飛んできた火山灰をはじめ、遠く鳥取や九州からはるばる飛んできた火山灰がはさまっています。	D
13	約170万年前～100万年前、毛無山の火山噴出物が古信濃川に流れ込みました。これらの溶岩の中には、無斑晶ガラス質安山岩と呼ばれる黒く光る岩石が含まれ、一部は志久見川沿岸で露頭として確認することができます。斑晶として鉱物がほとんど含んでいないところが特徴です。	D
14	河岸段丘のでき方には、大地の隆起、地球規模の気候変動による海水準の変化と下刻作用や側刻作用など、諸説あります。火山活動が激しいことと段丘の形成は直接関係はありません。	C
15	苗場山麓では、ローム層と呼ばれる赤土の土地が多く分布しています。これは、主に火山灰の地層です。美穂で見られる地層は、ローム層の基準になる地層です。火山灰は、主に苗場山麓の西側にある火山から飛来したものです。	A
16	龍ヶ窪の湧水は、柱状節理の岩の間にしみた水が地下水になり、溶岩流の末端からしみだしています。化学分析の結果、約40年かかり湧出していることがわかっています。	B
17	石落しの上部をつくる柱状節理の部分は、苗場山の第二期の火山活動で流れ出した溶岩流が原因です。岩石は、安山岩です。厚さは、石落し付近では、50～100mほどになっています。	C

18	今から50年ほど前に発見されました。詳しい調査で、古型マンモスの臼歯ということが後年わかりました。今から120万年前頃に日本にやってきたようです。日本でも発見は少なく、貴重なゾウとわかりました。	D
19	1.5～0.9万年前に笹場峰の西側の大地が大崩壊し地すべりをおこしました。落差は300m、一気に対岸の中津川をせき止めました。その後ダムアップして今の太田新田集落に中津川が流れた形跡があります。	A
20	結束層のできた年代を問うています。選択肢では、Bが正解です。なお、年代については、諸説あります。	B
21	上部は約30万年前に噴いた苗場火山の溶岩、下部は約80万年前の鳥甲火山の活動による溶岩の層になります。2種類の溶岩流がみられ、紅葉シーズンには、写真撮影のスポットにもなっています。	C
22	この地域では、カモシカのことを「アオシシ」と呼びます。	B
23	信濃川を一望できる段丘面(米原面)の突端に築かれた中世の城跡です。戦国時代には上杉氏の番城として使用され、「太平記」にも記されている山城です。	A
24	山号は「金玉山正法院」といい、本山は比叡山延暦寺、天台宗のお寺です。平家の守護神である不動明王が祀られている。安置したのは、宮本清左エ門と言われています。「七ツの滝」が流れ、延命水と名付けられています。	B
25	全国農村景観百選にも選ばれている美しい石垣田が広がっています。石垣は、鳥甲山と苗場山の火山噴出物(柱状節理の岩石)の崩れたものを利用しています。	C
26	無数の池塘は田んぼのように見えることから「神の苗代田」とも呼ばれ、山頂には平安時代の延喜式神社である「伊米神社」が建立されました。農耕の神様として祀られ、参拝登山されてきた歴史があります。	D
27	山伏山の風穴は、標高約780mで真夏でも10℃前後の冷風が出ています。かつては、小屋掛けし、蚕種の貯蔵施設として利用された。現在も石組が残されています。	A
28	標高は1020mで地形地質的に水が溜まりやすいため、出口付近に堰堤をつくり、下流の田に水を供給できるようになりました。7月ころには、ミズバショウをはじめ湿地帯の植物が花を咲かせるとともに高原の樹木や多くの昆虫などがみられる地点です。信越トレイルの通過地点にもなっています。	B
29	見倉付近を境に南部の信州秋山郷にはユキツバキが見られなくなります。ユキツバキの南限になっています。	A
30	見倉集落の東側にはトチノキの巨木が多く生育する森が広がっています。新潟県内最大といわれるオオトチノキ(直径約2.7m・森の巨人百選)は有名です。一帯は原生的で優れた自然環境が残る貴重な場所です。	B
31	地球の誕生は、約46億年前とされます。やがて日本列島ができ、火山の噴火や地震の発生など今も地球は生きていて、活動を続けています。	C
32	ジオパークの活動は、自然の保護(保全)活動が基本にあります。その上に自然を守る心や郷土の歴史文化を誇りに思う人材を育成する教育活動があります。	D
33	苗場山麓地域で、先人たちが住み続けられたのは、ジオ・エコ・カルチャーによって育まれたすばらしい「雪国文化」があるからです。私たち自身が、この地域のすばらしさを再認識し、自信と誇りを持ち、時代を生きる子どもたちに正しく伝え、残してきたことこそ大切な「地域振興」のもととなります。	B
34	コラム欄の説明の通りです。公募で募集し、図のロゴが決まりました。中央の波形の部分は、苗場山麓の特徴的な地形の河岸段丘と緑の大地を表現しています。	A

35	ガイドブック概要編の94ページに説明があります。現在の正面地内のショッピングセンター付近で出土した石器から3万年ほど前に九州から飛散した火山灰を含むことでわかりました。県内でも旧石器時代の遺跡の発見は珍しいことです。	B
36	約10000年前に氷河期が終わり、海が広がり、日本海が誕生し、約8000年前から対馬暖流が流れ込むようになりました。そのため、苗場山麓地域に多量の雪が降るようになりました。	C
37	苗場山麓には、現在火を噴いている活火山はありません、苗場山をはじめ、鳥甲山、毛無山は、かつては火山活動をしていたことが、調査からわかっています。	D
38	苗場山麓地域では、河岸段丘や溶岩層の下部に魚沼層(群)が分布しています。AからCの地層は、いずれも結束層です。	D
39	苗場山麓地域には、温泉があちこちに分布しています。石原川は、苗場山麓地域の卯ノ木集落から清津川に合流する川ですが、温泉は確認されていません。	C
40	苗場山麓に生息する動物を問うています。Dのアナグマは、クマの仲間ではなくイタチ科です。トキは、半世紀以上前には、魚沼地方にも生息していました。	A
41	苗場山麓では、標高200m付近にもブナが育ちます。ブナは、天然のダムとよばれるように、多くの水を涵養する樹木です。その理由にブナの葉のつくりから、雨水を幹に集める仕掛けがあります。ブナの幹に雨がしたたる流れを樹幹流といいます。雨の日にブナ林を散策すると目の当たりに観ることができます。	D
42	各市町村では、独自に町村の木・花・鳥などを決めています。津南町は、ウグイス、栄村は、ブツポウソウです。ちなみに津南の花はヒマワリ、栄村はカタクリ、木は、津南のブナ、栄村のキリとなっています。	C
43	火焰型土器は、火焰土器という固有名詞を持つ一つの土器(長岡市馬高遺跡出土)に似ている土器を指します。火焰型土器には、王冠型土器も含まれます。	A
44	江戸時代には、天明の大飢饉や、天保の飢饉が知られています。飢饉の原因は一つではありませんが、火山の噴火による噴煙が上空を覆い、日照が妨げられ、天候不順がもたらされたと考えられています。火山活動では、有名なものは、浅間山の噴火が上げられます。富士山も宝永年間に噴火し、江戸に火山灰を大量に降らせました。	A
45	ジオサイトの管理は、民間に任せきりでなく、官民合わせて取り組むのがよい。適切な点検や確認が必要だからです。	D
46	2025年2月現在、日本ジオパーク数は、世界ジオパークを含めて48ヶ所です。	D
47	2024年度、新規に日本国内でユネスコ日本ジオパークに認定されたのは、三好ジオパークと蔵王ジオパークです。	B
48	2024年6月に発表された持続可能な開発ソリューション・ネットワークとベルステルマン財団によるレポートによると、SDGsの達成度は、対象となった166カ国中18位であった。	D
49	ジオサイトを習得するだけでなく、地域の宝ものを五感を通して体験し、認識することが大切です。また、ジオパークを維持するためには、自然を守る心や郷土の歴史を誇りに思う人材育成が必要です。ジオパークで学んだ知識やガイドの技術を身に付け、積極的に家族や仲間などに発信する心をもち実践することが大切です。	B
50	気持ちを率直にお答えください。	どれもO

